

まず石岡から！！ 「音の出る秋の平和宣伝活動」 開始 「東海第二原発再稼働反対・廃炉に」 の声を全県に！

今年の秋の宣伝活動は、全国課題と県内のとりくみである「原発なくせ」と「東海第二原発再稼働反対・廃炉に」をテーマに、全県を6地区に分け、宣伝カーに宣伝とチラシ撒きを進めています。10月1日（月）、石岡市から口火が切られました。

チラシは宣伝カーと一緒に手撒きします。さらに地域によっては「各戸手配り」や「新聞折り込み」等で配布が始まっています。

街頭宣伝の日程

- 県南地域（第一）・・・石岡・土浦～阿見・美浦～稲敷～つくばみらい等 10/1～
- 県南地域（第二）・・・荃崎～守谷～竜ヶ崎・取手・藤代～等 10/6～
- 水戸地域・・・水戸～内原・友部～笠間 等 10/14～
- 県北地域・・・那珂・ひたちなか・常陸太田・日立・大宮・美和緒川 等 10/25～
- 県西地域・・・下館・結城・境・古河・五霞等 調整中
- 鹿行地域・・・潮来・神栖・鹿嶋・銚田・行方等 調整中

県南～水戸～県北は、1台の宣伝カーで、期間をずらしてすすめます。県西・鹿行は地域の労働組合から借り上げて行なうため、地域で具体的な段取りを進めています。

チラシは、下記の表題で、両面刷りで作成しました。

沖縄の空は私たちのもの
オスプレイ配備拒否・普天間基地撤去

子どもたちの未来のために
原発なくせ、こころひとつに！



東海原発再稼働反対・廃炉に
茨城県平和委員会

昔から「理屈と膏藥ははどこにでもつく」とは、よく言われるが、 「大間原発建設再開は、まさにデタラメ」の声

Jパワー（電源開発）の大間原発が、東日本大震災後に止まっていた原発建設の初めての再開となります。野田政権が掲げた「2030年代の原発ゼロ」の目標は、原発新設を容認したことで骨抜きになりました。しかも大間原発は、フルMOX原発のため、使用済み核燃料を再処理して使い続ける「核燃料サイクル政策」の継続が前提となります。

まさに、デタラメ・無法ともいえる建設再開表明です。

【大間原発
：青森県大間町】



沖縄問題 秋の学習集会

オスプレイ配備拒否・普天間基地撤去

講師 内藤 功 （日本平和委員会代表理事）

日時：11月4日(日) 開場：午後1:00
講演及び質疑応答午後1:30～3:00

会場：グリーンパレス石岡（石岡市）

基地はいらない！オスプレイも安保もイヤ！

★沖縄と連帯し、日米安保をなくし、普天間基地撤去・オスプレイ配備拒否のたたかいを上げましょう。



歓迎！新入会員のみなさんです。 宜しくお願いします。

- 木村 栄 さん（鹿嶋市）
- 林 義雄 さん（石岡市）
- 佐藤 勉 さん（大洗町）
- 飯野 良治 さん（阿見町）
- 五来 則男 さん（水戸市）

*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

各平和の会(平和委員会)のみなさん一人ひとりの力で、月5名の仲間づくりを実現いたしましょう。

平和新聞

2012年10月5日（金曜日）

1998号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版 No. 636
2012.10/5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

JCO臨界事故から13年

原子力事故を繰り返さない！

2012年9.30茨城集会



【主催者挨拶：田村武夫氏】



【記念講演「その時女川原発は？生命が大切にされる地域づくりをめざして」 原発の危険から住民の生命と財産を守る会事務局長・女川町会議員：高野博氏】



【「2012年9.30茨城集会アピール」（案）が新婦人の会員の方によって読み上げられて、参加者によって採択されました。】



【原電原発前までの、およそ1 Kmをデモ行進しました。】



【原電原発前で参加者一同の名前で、原電社長あての要請書を手渡しました。】

女川町 高野博さんからのメッセージ

女川原発は、昨年3月11日の東日本大震災で被災し、約600ヶ所に及ぶ数々の不具合を抱え、いまその補修・修理にあたっています。

「女川原発は安全に停止し、冷温状態を維持。フクシマと違って優秀な原発だ」と、評論家の桜井よし子氏が大宣伝していますが、とんでもありません。

女川原発を襲った津波は13m、敷地の高さは、13.8mです。わずか80cmで津波の浸水をまぬがれました。この事実は、公表されたもので、私たちはこのことを知ったときは本当に背筋が凍る思いをしました。フクシマの事故に「紙一重」でした。茨城のみなさんにもぜひこのことを知って欲しいと思います。

ともに原発ゼロをめざして頑張ろうではありませんか。茨城のたたかいから多くのことを学びたいと楽しみにしております。

【報告「東日本大震災で東海第二発電所もあわや『原発震災』茨城県原発を考える会：中村敏夫氏】



第19回百里稲刈り交流会

百里平和委員会 村田 深



【平和と農業に乾杯】

【天高く響け歌声】

9月22日（土）、百里平和農園と百里平和公園で、第19回稲刈り交流会が開かれ、平和委員会、基地反対同盟、農民連、民青同盟など20名ほどが参加しました。

朝の雨で稲が濡れてしまったので稲刈りは断念し、田んぼの草取りをしたあと、基地の反対側（基地の真ん中）にある平和公

[シリーズ] わが街・わか会員

笠間市／加藤 正敏さん（内原・友部平和の会）

何より貴重な、地域での広がり



勤めを退職して早くも4年目。これまで一般会員でしたが、今年から内原・友部平和の会の事務局に参加させていただいています。

8月に笠間市内友部地区で『戦争と平和展』をやり、戦争の悲惨さ・非人間性、茨城と戦争、そして原発再稼働反対などのパネルを出しました。見てくれた人はかなりいるようです。感想を書いてくれた人もいます。

私は旧岩間町に住んでいますが、友部・笠間と合併して笠間市となったことで、友部での碁会にも参加しています。碁碁では、真剣にやるのが自分のためであり、相手のためにもなります。上には上の強い人ほど真剣に取り組んでいるようです。碁では、割と簡単に、新しい知人がかなり多くできました。

これからは、平和の会でも、新しい会員や協力者つくことに努力したいと思います。平和、民主主義、社会進歩の方向でともに語り、行動できるネットワークを地域で広げることが、何より貴重なことだと思います。

園に移動し、交流しました。持ち寄った食材を使って、バーベキューや菜種油のてんぷらなどを食べながら、ヒューマン・ファーマーズの歌を聞ききました。

休日だったので、旅客機がたまに飛ぶ以外は静かでしたが、戦闘機2台が離陸したときは、轟音で歌もまったく聞こえなくなり、「旅客機とは全然騒音のレベルが違うねえ！」と改めて驚きました。

平和や農業についてのクイズでは、自衛隊機が年間600回も茨城空港の滑走路を使っているなどの答えを聞いたとき、驚きの声や歓声が湧きました。

初めて参加した青年が二人いました。「稲刈りができなかったのは残念でしたが、おいしいものをたくさん食べているんなお話が聞けて、良かったです」と感想を話していました。